



第 150 期

中間報告書

2014年4月1日から2014年9月30日まで

- 1 株主の皆様へ／連結業績ハイライト
- 3 セグメント別の概況
- 5 コーポレート最前線
- 6 会社概要／株式の状況
- 裏表紙 株主様向け情報



株主の皆様には平素より格別の 第150期第2四半期連結累計期間の当社グルー

事業環境は、米国においては、雇用者数の増加や失業率の低下が見られるなど景気の回復が続き、ヨーロッパでも持ち直しの動きが続きました。アジアでは、中国における景気の下振れリスクはあるものの、全体的に景気の緩やかな拡大傾向が継続しました。国内では、民間企業の設備投資の増加に弱さが見られましたが、個人消費や住宅建設を中心に消費増税による駆け込み需要の反動に一部持ち直しが見られ、公共関連の投資も堅調に推移したため、全体としては景気の緩やかな回復基調は継続している状況でした。

このような経済情勢のもと、当社グループは2016年度を目標年度とする3か年の中期経営計画「E-Plan2016」の初年度として、基本方針に基づき、『経営基盤強化』から『成長』へと明確に舵を切る変換点と位置付け、スピード

ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 プの業績概況についてご報告申し上げます。

感を持った変化の実現と成長の加速を図る施策に注力しています。

第2四半期は、受注高は精密・電子事業で増加したものの、風水力事業、エンジニアリング事業の減少により、全体としては前年同期を下回りました。一方、売上高は全ての事業で前年同期を上回りました。営業損益は、精密・電子事業で改善したものの、風水力事業の減益により全体としては前年同期を下回りました。

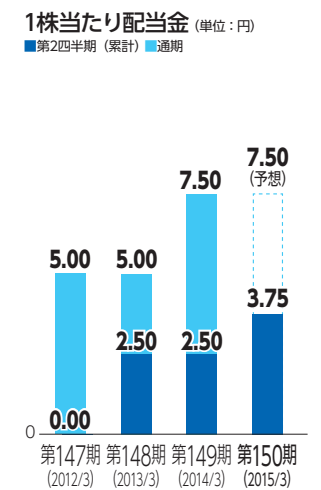
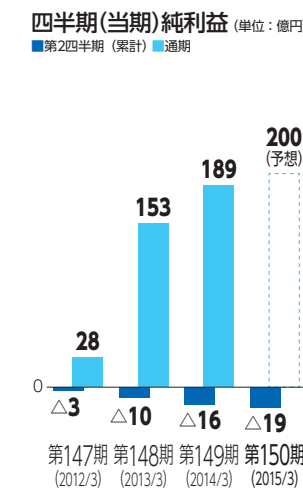
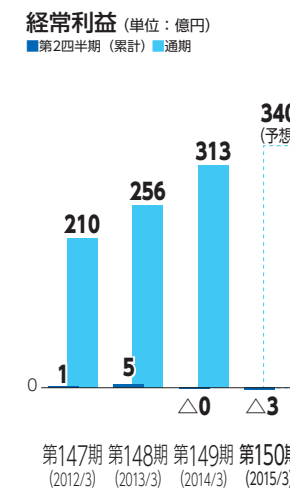
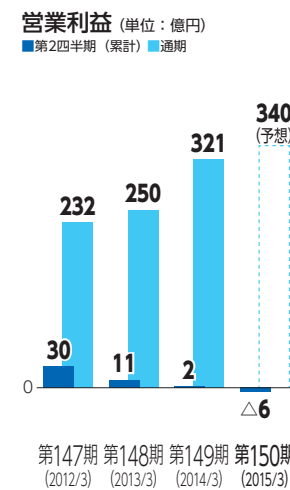
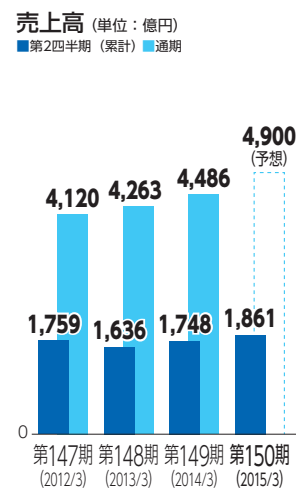
当第2四半期連結累計期間における売上高は1,861億17百万円(前年同期比6.5%増)、営業損失は6億16百万円(前年同期比8億28百万円の悪化)、経常損失は3億9百万円(前年同期比2億70百万円の悪化)、四半期純損失は19億23百万円(前年同期比3億3百万円の悪化)となりました。

中間配当につきましては、1株あたり3円75銭とさせていただきます。

当社グループでは、2014年5月に2016年度を最終年度とする中期経営計画「E-Plan2016」を策定しました。当計画では、投下資本利益率(ROIC)を重要経営指標と位置付けてその改善を図るとともに、D/Eレシオ(安定性指標)と自己資本利益率(ROE)(効率性指標)を経営管理上の重点指標と位置付け、それらの均衡の取れた改善も図っていきます。

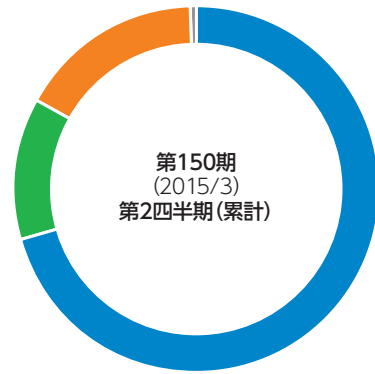
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

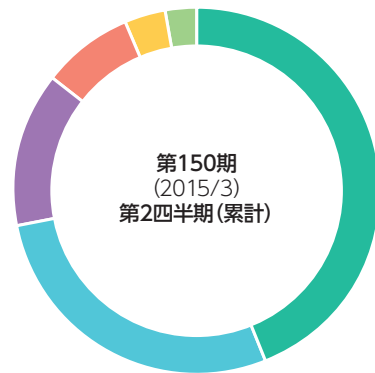


詳しい業績情報はWEBサイトへ >>> <http://www.ebara.co.jp/ir/>

事業別売上高構成比



地域別売上高構成比



(注)日本以外の地域に属する主な国又は地域
 アジア: 中国、韓国、インド、台湾
 北米: 米国
 欧州: イタリア、ドイツ
 中東: サウジアラビア
 その他: ブラジル

風水力事業
70.7%

エンジニアリング事業
12.5%

精密・電子事業
16.3%

その他
0.5%

日本
44.0% 818億円

アジア
28.1% 523億円

北米
13.7% 254億円

欧州
8.0% 148億円

中東
3.6% 67億円

その他
2.6% 48億円



風水力事業

創業以来の主力製品であるポンプをはじめ、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、優れた技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **大井 敦夫**

主要製品

- ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

売上高 **1,315億円** 前年同期比 **2.4%** ↑

営業利益 **△31億円** 前年同期比 **△22億円** ↓

ポイント

- 海外ポンプ事業は中国・東南アジアの発電プラント向け案件などが堅調。石油・ガス向け案件では一部に遅れ。
- 国内ポンプ事業は消費増税による駆け込み需要の反動減あり。
- コンプレッサ・タービン事業はアジア地域や北米を中心に石油・ガス市場向け案件が堅調。



エンジニアリング事業

燃焼・ガス化技術を核とする先進的な環境・エネルギー関連技術をベースとして、多種多様な課題に対するトータルソリューションを提供しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **藤本 哲司**

主要製品

- 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント

売上高 **232億円** 前年同期比 **29.7%** ↑

営業利益 **10億円** 前年同期比 **17.0%** ↓

ポイント

- 新規建設工事(EPC)や、施設建設から運転管理・事業運営までを含めた事業型案件(DBO)の発注量は前期に比べ回復傾向。
- 長期包括運営契約に加えて3件の基幹的設備改良工事を受注計上。



精密・電子事業

ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売まで行い、さらには次世代に対応する装置を開発・製造しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **辻村 学**

主要製品

- 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

売上高 **304億円** 前年同期比 **10.5%** ↑

営業利益 **10億円** 前年同期比 **16億円** ↑

ポイント

- スマートフォンやタブレット型等のモバイル端末に対する需要が市場全体を牽引。
- DRAMやNANDなどの需要が徐々に回復の兆しを見せ、コンポーネント事業において堅調に推移。



往原史上最大電動機出力の水移送用 パイプラインポンプ(両吸込単段渦巻C型ポンプ)



水移送用パイプライン敷設現場(総敷設距離610km)

風水力事業では、サウジアラビア海水淡水化公団より一大国家プロジェクトにかかわる水移送用パイプラインポンプを24台受注し、製作中です。これらのポンプは、紅海沿岸の海水淡水化プラントからサウジ内陸のイスラム教の聖地メディナ等まで、海淡水日量約71万m³、総敷設距離610kmを移送する本プロジェクトの成否を決める重要な製品で、当社の長年にわたる大型高圧ポンプの製作実績に基づく高度な技術力と運転実績をベースに、今回採用のポンプ型式としては世界トップクラス、往原史上最高揚程と最大電動機出力を誇ります。風水力事業では、今後もさらなる製品力の向上を図ってまいります。



ごみ焼却施設基幹的設備改良工事の 連続受注

エンジニアリング事業では、市原市、所沢市、伊勢崎市よりごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を受注いたしました。これらの工事は、設備の老朽化した施設において、機能保全や延命化、省エネルギー化を図り、適正かつ安定したごみ処理を継続可能とすることを目的とし、環境省の循環型社会形成推進交付金事業に基づき実施するものです。今後もお客様に最適な基幹改良プランを提案し、安心・安全で安定した廃棄物処理施設の実現に貢献してまいります。



市原市福増クリーンセンター第二工場(外観)



西安往原精密機械有限公司 本格稼働開始



西安往原精密機械有限公司(中国 陝西省西安市)

精密・電子事業では、主要取引先である韓国半導体企業の中
国への進出に合わせて、2013年8月20日、陝西省西安市に、顧客サポートを目的とした西安往原精密機械有限公司(Xian Ebara Precision Machinery)を設立しました。2014年5月26日にはドライ真空ポンプのオーバーホール工場が竣工し、中国市場でのサービス&サポート拠点として本格稼働を開始しております。

地域に密着してお客様のニーズと信頼に応えることにより、中国での精密・電子事業発展の一翼を担ってまいります。

「世界の地域社会とともに生きる荏原」

～ 畠山清二記念荏原基金 技術セミナー～



セミナー風景



当社グループは、創業以来培ってきた技術や経験を世界各国の社会基盤の整備や改善に役立てるため、社会貢献活動として1989年より無償による技術セミナーを世界各国で開催しています。

セミナーの講師は当社グループの社員が務め、2014年10月末までに世界19ヶ国において現地のエンジニアなどを対象に245回開催し、受講者は延べ11,428人に達しました。

セミナー内容は、地域の現状や受講者の要望に応じて課題解決に直結するテーマを設定しています。

例えば東南アジアのカンボジアでは、二期作の稲作を行う水田面積拡大による単位面積当たりの収穫量増量が求められており、雨季だけでなく乾季にも稲作を行うための灌漑設備の整

取締役常務執行役員
人事・法務・広報・総務担当
荏谷 勝



技術セミナー開催状況 (2014年10月末現在)

開催国	受講者累計	開催国	受講者累計
中国	192	シンガポール	44
タイ	4,172	インド	245
ベトナム	1,514	スリランカ	182
マレーシア	1,154	UAE	52
インドネシア	960	ブルガリア	116
フィリピン	834	コロンビア	159
カンボジア	1,038	ペルー	60
ラオス	133	その他	113
ミャンマー	460	合計	11,428

備が課題となっています。そこで灌漑設備に関連するポンプ技術を向上したいという現地の強い要望に応え、2014年7月にブノンペンで灌漑設備用ポンプセミナーを実施しました。

また南米のペルーでは、アンデス山脈の標高4,000mを超える山岳地帯に町や村、鉱山が点在しており、それらの地域に水を送るためのポンプ技術は不可欠です。そこで送水、排水ポンプに関する更なる技術力向上を望む現地の要望に応え、2014年9月にリマで送水・排水ポンプセミナーを実施しました。

今後も、我々の培ってきた技術や経験を世界中の地域社会の発展に役立てるため、継続してニーズに合った技術セミナーを行ってまいります。

会社概要

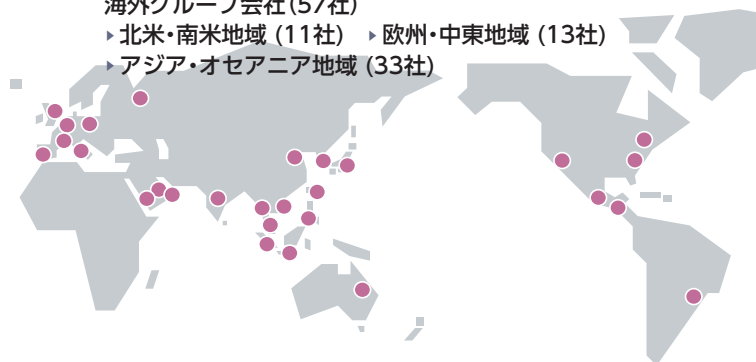
■ 創業	1912年11月
■ 設立	1920年 5月
■ 資本金	686億5,252万2,423 円
■ 従業員数	4,006名 (連結：15,798名)
■ 役員	

取締役会長	矢後 夏之助	取締役	三國 陽夫
代表取締役社長	前田 東一	取締役	宇田 左近
取締役専務執行役員	藤本 哲司	取締役	並木 正夫
取締役専務執行役員	辻村 学	取締役	国谷 史朗
取締役専務執行役員	大井 敦夫	常勤監査役	橋本 章
取締役常務執行役員	小淵 憲	常勤監査役	津村 修介
取締役常務執行役員	荏谷 勝	監査役	町田 祥弘
取締役常務執行役員	野路 伸治	監査役	高橋 文雄
		監査役	卜部 忠史

(注) 1. 取締役のうち、三國陽夫、宇田左近、並木正夫及び国谷史朗の4氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役のうち、町田祥弘、高橋文雄及び卜部忠史の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

拠点

- 国内
事業所・事務所 (9カ所) / 支社・支店・営業所 (76カ所)
国内グループ会社 (32社)
- 海外
事業所 (4カ所)
海外グループ会社 (57社)
 - ▶ 北米・南米地域 (11社)
 - ▶ 欧州・中東地域 (13社)
 - ▶ アジア・オセアニア地域 (33社)



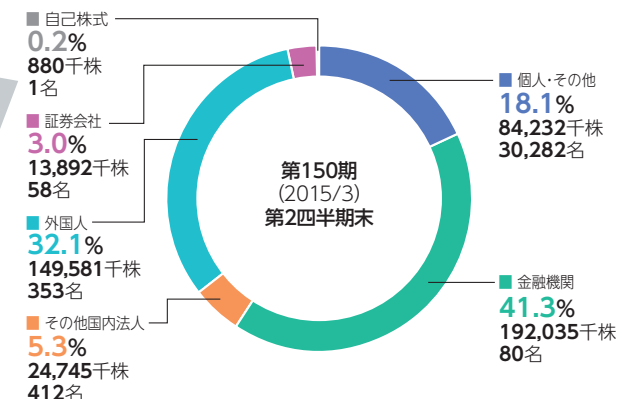
株式の状況

■ 発行可能株式総数	1,000,000,000 株
■ 発行済株式の総数	465,367,829 株
■ 株主数	31,186 名
■ 大株主 (上位10社)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	50,709	10.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	48,057	10.3
株式会社みずほ銀行	10,000	2.2
PICTET AND CIE (EUROPE) S. A.	9,542	2.1
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	8,431	1.8
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	7,329	1.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,127	1.5
野村信託銀行株式会社 (投信口)	6,518	1.4
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	6,312	1.4
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC / JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	6,201	1.3

(注) 持株比率は、自己株式(880,229株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で 行っております。
公告方法	電子公告 http://www.ebara.co.jp ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	1,000株 上場証券取引所 東京証券取引所

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内
株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ IRカレンダー

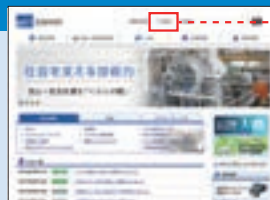


WEBサイトのご案内

当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご活用ください。

荏原製作所

検索

<http://www.ebara.co.jp>

NEWS

グローバルサイトを
公開しました

海外展開の積極化に対応し、英語・日本語をはじめとする9言語に対応しています。



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

